

うやなぎ

五年ぶりのイベント 校区あげて成功させよう



植柳校区
住民自治協議会
会長 鑄山元生

盛夏の候、校区の皆様におかれましては、ますます健勝のこととお慶び申し上げます。また、日頃から住民自治協議会に対し、ご理解と支援を賜り心より感謝申し上げます。

さて、コロナウイルス感染症がインフルエンザ並みの五類に取り扱われ、コロナ感染以前の生活に戻りつつあります。これまでにいろいろな行事が中止され、先行き不透明な状況でしたが、五年ぶりに第三十八回ふるさと祭り植柳盆踊りが開催されることになりました。スタッフの交代もあつて多方面での戸惑いがあり、五年前を思い浮かべながら準備を進めています。

行事の後半には、栽柳園の清掃作業、校区民体育祭、ふれあい祭り、植柳神社秋の大祭などイベントが盛りだくさんです。校区の皆さんと協力しながら盛り立てていきたいと思っております。

近隣と手をつなぎ、「活気ある物心豊かなまちづくり」に向けての地域づくり、ふるさとづくりに更なる温かいお力添いを頂き、成功させましょう。

四年前から植柳小学校の栽柳園内に「ホタルを飛ばそう」ということで、栽柳園保存期成会を設立しました。ホタルの餌であるカワニナを生育させ、五月末には他校区でホタルを捕獲、栽柳園で放して四日間ぐらい乱舞してくれました。来年は、ホタルが成長して栽柳園から飛びたつてくれることを願っています。



令和五年度 通常総会実施

昨年は、コロナウイルス感染拡大防止のため、総会は書面議決でした。

今年は五月二十五日(木)十九時より植柳コミュニティセンター講堂で、「植柳住民自治協議会通常総会」が開催されました。

七十五%の出席率（構成員六十一名 出席四十六名（委任状十四名含む））総会成立。

議長に鶴田洋明（上二）さんが選出され第一号議案から第十号議案が提案され、全会一致で可決されました。



発行責任者
会長
鑄山元生

植柳校区人口
(令和5年4月末現在)
男 2,068名
女 2,355名
計 4,423名
(-22名)
※令和4年12月より

令和五年度 植柳校区住民自治協議会 役員紹介

役員名	氏名	氏名	氏名
会長	鑄山 元生 (元町)	監 事	宮本 慶儀 (元町)
副会長	谷川 成孝 (上2)	顧問	桑田 謙治 (大福寺)
町内会長	永松 清子 (上2)	事務局	西本 直 (上1)
	渡邊 敏也 (上2)	局長	橋口 一博 (上1)
	坂井 道男 (上1)	書記	勇 篤子 (元町)
	渡邊 敏也 (上2)	会計	橋口 一博 (上1)
	鑄山 元生 (元町)	地域アドバイザー	松下 美香 (大福寺)
	藤崎 博見 (下1)		橋口 一博 (上1)
	森山 雅彰 (下2)		田川 清健
	一川 いつよ (大福寺)		

※敬称は略

事務局



(前方)
田川清健 市職員
鑄山元生 校区長
勇 篤子 書記
(後方)
橋口一博 事務局長
松下美香 会計
(向かって右から)

チーラウーくと
笑顔で
モットーに
がんばります

「いあいだつ」

四月に着任しました。田川清健と申します。植柳校区は、琢磨川沿いの自然豊かな環境で伝統文化を誇るまちです。喜びと期待も大きくコミセンを通じて多くの皆様と出会えることが楽しみです。よろしくお願ひします。

今年から事務をやっています勇篤子と申します。私は、もともと植柳小、三中、八高出身で、専門は音楽です。イベント関係は張り切っていますので、何かありましたらなんでもおっしゃってください。どうぞよろしくお願ひ致します。

植柳コミュニティセンター(職員)

- 【事務職員】
橋口一博(上二) 松下美香(大福寺)
勇 篤子(元町)
- 【窓口業務】
谷崎千代香(古城町) 宮崎めぐみ(松崎町)
- 【施設管理】
山本 徹(永碓町) 杉村秀明(大村町)
近藤 昭二(大村町)
- 【地域アドバイザー】 田川清健(市職員)



ふれあい委員

令和五年度、ふれあい委員は各町内十数名、植柳校区に七十六名います。ふれあい委員は、ひとり暮らしの高齢者や見守りが必要な高齢者世帯に対して、「声かけ」「安否確認」を行います。近所同士での小さい支えあいが、お互いの心の支えあいとなり、絆を深めます。高齢者が孤立する状態を防ぐことができます。

ふれあい委員の具体的活動

- ・電気はついているか？
- ・洗濯物が何日もそのままではなしか
- ・新聞は溜まっていないか
- ・気配はあるか など

「無らちまらげなし見守りや声かけをします」

対象者は、六十五歳以上のひとり暮らし高齢者で必要な方（病院や施設入居者は含まない）



上二町内
(ふれあい委員)

活動中、対象の高齢者の変化に気づかれた時、民生委員・児童委員や町内会長にすみやかに連絡をお願いします。

※防災訓練時に、安否確認をして民生委員児童委員に報告します。

お世話になります

校区の皆様には、平素、消防団活動に、「ご指導、ご鞭撻いただき、誠に有難うございます。清田前分団長の任期満了に伴い、令和五年より八代市消防団八代方面隊第八分団の分団長を拝命しました。榎柳下町の松本将宏と申します。

我々消防団は、新たな体制で「自分たちの地域は自分たちで守る」という精神に基づき消防活動をスタートさせております。

活動としては、火災予防をはじめ、局地的な豪雨、台風及び土砂災害など多岐にわたる災害への防衛活動、年間を通しての啓蒙活動、自然災害の警戒パトロール防火水利の点検を行っております。

近年、団員の減少傾向にあり、随時募集しています。

入団資格は、市内に在住または勤務する方で、十八歳以上が対象です。興味のある方はお気軽に近くの消防団員または各町内会長までお問い合わせ下さい。

今後とも地域の皆様のお力添えのもと消防活動に邁進してまいります。引き続き消防団への変わりぬご支援をよろしくお願い申し上げます。

八代市消防団八代方面隊第八分団
分団長 松本将宏



七夕会

七月二日(日) 榎柳コミュニティセンターで約三〇名の子ども達が参加して短冊に願いごとを書いて飾りつけをしました。

(民児協)



願いごとが叶いますように!

報告 栽柳園保存期成会

令和四年度は、ホタルの棲み処となる水路、池の環境整備が整いました。九月には氷川町島地地区でカワエビを採集し放流しました。その後、順調に育っています。また、水路、池は、保存期成会会員の当番制で維持管理を行っております。

初めにかけて他地域でホタルを採集捕獲して放つことが出来ました。

数年後、ホタルが乱舞するのを夢みて、採集捕獲のお手伝いをされた方々の努力に感謝します。

(会長 松浦 幹夫)

数年後ホタル乱舞するのを夢みて



栽柳園の上空
5月28日(日)
19時58分撮影

防災訓練

七月二日(日) 下二町内では、地震による自主防災訓練が行われました。

第八分団や市の防災課職員も参加され、避難誘導訓練、伝達訓練、発電機始動、初期消火訓練を実施しました。参加者の中には防災グッズを準備して参加された方がおられ、ふれあい委員は、黄色のタスキをかけて参加されました。約百五十名の参加でした。防災意識や危機意識もて参加されました。

終了後、自治公民館で、「地震に備えて」の出前講座もありました。三十名の参加者が真剣に受講されていました。



(避難行動訓練)



(子ども初期消火に参加)



(下町公園 集合場所)



(講座 防災に備えて)

日奈久断層による地震のリスク

- ・震度6強～震度7
- ・日奈久断層は、甲佐付近～豊野～日奈久～芦北御立岬～八代海南部(御所浦五柳沖合)
- ・今後三十年の間に日奈久断層の地震の発生率 陸地6% 海底16%以上(政府の地震調査会による)
- ・海底が震源地の場合は津波があると予想されます。

体協だより

六月四日(日) 第十八回八代市市民体育祭陸上競技大会が開催されました。榎柳校区として四年ぶりの参加。小学生・中学生から一般総勢六十八名が力走、力投しました。見事榎柳男子初めての優勝旗を持ち帰ることができました。皆さんの力で威風凛々な存在をアピールすることができました。大声援で、笑顔で頑張り、チーム榎柳の良さを伝えることが出来ました。選手、スタッフの皆さんお疲れさまでした。

(松下美香)



環境美化 町内一斉清掃

今年度も各町内でも一斉清掃が実施されています。公園や道路沿い、広場の草取りや草刈り、約二時間汗を流しました。子ども達も参加協力しました。ボランティアのゴミ袋がいっぱいになりました。

とてもきれいになりました。



(大佛寺)児童公園5/21



(元町)公民館裏庭 6/25



(上2)広場6/4



(上1)天神の森公園 7/16



(下2)愛護公園 6/4



(下2)親子で参加

編集後記

▶今年度から、校区や町内の行事が四年ぶりに再開。子ども達から「高齢の方まで生き生きと活動する姿が良かった。」

▶コロナウイルスが五月から五類移行され、二ヶ月が経つが、沖縄ではコロナウイルス感染者で病院が逼迫している。その一方で、鹿児島、熊本も急増している。高齢者の死し者も増えている。完全に収束までには至らない。

▶早いもので球磨川水害が発生して二年が過ぎた。人は災害復興が順調に進んでいるが、坂本村や球磨村の一部はまだまだ目途が立たない場所もある。

▶今年も各地で線状降水帯による被害が頻りに発生。被害が拡大している。七年前の熊本地震での災害復興での河川、堤防工事の益城や熊本市内が、水害の被害を受けた。これも温暖化によるいたずらなのかもしれない。

▶災害はいつ発生するかわからない。「自分の命は自分で守る」ことが大切である。災害は、地震、台風、水害など多岐にわたるが、災害が起きた時に備え、避難場所、避難経路を各家庭で確認しておきたい。

▶非常時の災害必需品を揃えておくことも大切である。また、近所の人とのコミュニケーションが必要で、いざというときに役立つ。日頃の備えが必要である。

▶熊本市内のある中学校に「再び帰らぬときならばこのひと時に 命燃やせ」という校章(こうざ)がある。校章とは、学校の教育の根本精神である。校訓とは違つ。

▶一度過ぎりの人生。悔いが残らないように人のため、世のためになるように精一杯頑張りたいものである。

(下二町内会長 森山雅彰 文責)